



# 集落営農法人だより

## 第 10 回山口県集落営農法人連携協議会 通常総会・研修会を開催

平成 30 年 4 月 26 日、山口市の県 J A ビルで標記総会・研修会を開催しました。

本年度も『次代へつなぐ集落営農』をテーマに掲げ、集落営農法人の経営安定と後継者確保、法人間の連携強化等に取り組むことを決定しました。

なお、出席法人数は委任状出席を含め 148 法人、総出席者数は 151 名となりました。



### <法人協：中村会長あいさつ>

開会にあたり、主催者を代表して本協議会の中村久会長が次のとおり挨拶を行いました。

- 現在、県下で 263 の集落営農法人が設立され、本協議会はその約 8 割に当たる 206 法人で構成しております。経営課題の解決、農業・農村の持続的な発展に向け、会員同士の連携強化、新設法人への支援等に積極的に取り組んでいきます。
- 昨今の農業を取り巻く環境は、集落内・外ともに厳しい状況が続いています。農業者の高齢化、担い手不足はご案内のとおりであり、農産物価格の低迷、貿易自由化による農業分野への影響懸念など、生産現場には大きな不安が広がっています。
- こうしたなか、毎年、農業への志をもって、新規就業する若手農業者がいます。これからの農業・農村をけん引していく貴重な存在であるため、法人協としても研修会や意見交換の場の設定など、農業に従事していくうえ有益な機会を提供していきます。



### <県農林水産部：山根部長あいさつ>

来賓である山口県農林水産部の山根信之部長より、次のとおり祝辞をいただきました。

- 持続可能な力強い農業の実現を目指して構造改革を進めているところであり、効率的な経営が可能で、若者の働く場ともなる法人経営体の育成や経営発展に向けた取り組みをより一層推進してまいります。



- また、法人経営体の次代を担う新規就業者の確保・定着に向け、県外からの就農希望者の呼び込みを強化するとともに、魅力ある就業先となるよう、生産から暮らしまで幅広く受入体制を整備するなど、「担い手支援日本一」対策をさらに充実していきます。

### <中央会：金子会長あいさつ>

同じく来賓である山口県農業協同組合中央会の金子光夫会長より、次のとおり祝辞をいただきました。

- JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げる創造的自己改革に鋭意取り組んでおり、本年度はその総仕上げを行ってまいります。
- 経営基盤の強化の柱である、平成31年4月の「JA山口県」の設立に向け、精力的に取り組みを進めます。
- 貴協議会においては、会員法人の経営安定・発展に向けた研究会の設置や、次の世代への経営承継の取り組みとして若手法人就業者のサークル活動（百姓錬磨の会）など多様な活動を展開されています。これらの取り組みに対し、これまで以上に組織の総力を挙げ支援していきたいと考えています。



### <議 事>

議事では、本協議会の中村会長が議長を務め、第1号議案から第4号議案の全てが満場一致で承認されました。

- 【第1号議案】平成29年度活動報告および収支決算について
- 【第2号議案】平成30年度活動計画および収支予算について
- 【第3号議案】平成30年度会費について
- 【第4号議案】規約の変更について

### <平成29年度 山口県集落営農法人優良経営体表彰>

総会では、去る3月27日に開催した「平成29年度集落営農法人優良経営体表彰審査会」において「県知事賞」「中央会会長賞」「協議会会長賞」に推薦された3法人への表彰式を行いました。

表彰式に先立ち、審査委員長を務めた広島経済大学の山本公平教授が、推薦法人についての審査講評を述べられました。

- 【県知事賞】農事組合法人 ファーム17  
(JA山口宇部管内)
- 【中央会会長賞】農事組合法人 石城の里  
(JA南すおう管内)
- 【協議会会長賞】農事組合法人 大吉部  
(JAあぶらんど萩管内)



## <山口県集落営農法人連携協議会 研修会>

通常総会に引き続き、同会場において「山口県集落営農法人連携協議会研修会」を開催しました。

研修会では、県知事賞に輝いた農事組合法人ファーム17の野村文雄代表理事より、自法人の取り組みとして、新規就業者の確保・育成や地域との連携活動等について事例発表をいただきました。

また、東京大学大学院の安藤光義教授より、「これからの集落営農法人のめざすべき方向性について」と題して講演いただきました。

安藤教授は自らが調査・研究した各地の集落営農法人の事例を踏まえて本県における集落営農の展開方向について分かりやすく報告され、「経済活動としての集落営農と、地域社会の再編強化と活性化のための集落営農の2つの側面がある。次の農村社会をどう描くか、集落営農の今後の展開が非常に重要だ」などと強調されました。



## <若手就業者研修会を開催>

平成30年4月16日と17日の両日、山口市の「パルトピアやまぐち(防長青年館)」で若手就業者研修会(新規採用・就業者向け)を開催しました。



本年度に集落営農法人に就業された者など5名が参加しました。

(有)ケイ・アンド・ワイの村上紀子講師から、社会人としてのマナーとコミュニケーションについて学びました。

インタビューをビデオ撮影して自分でその姿を視聴する体験では、参加者の一人は「初めて見た。自分はこんな感じなんです」などと話していました。

また、先輩就業者からのアドバイスでは、若手就業者サークル「百姓錬磨の会」の副リーダーでもある、株式会社仁保農産の田中 響さんが「最初とはとにかく話すこと、自分を知ってもらうことが必要です」などと経験を踏まえて後輩のエールを送りました。

17日はJAグループのしくみや農業情勢についての研修を受けました。

なお、12月には3～5年目の就業者向けの研修会も予定しています。